

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 184 1月号

2021年1月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

電子図書館へは、
右のQRコードから
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏電子図書館



読書と私 No.174

「そうだ、図書館へいこう！」

御津町 藤原 奈緒

隣のこども園から聞こえてくる元気な声に顔がほころび、悠々たる白壁の屋舎に足を踏み入ると「おはようございます、こんにちは」……司書の方々の笑顔と本に迎え入れられる、ここが御津図書館です。

私が御津図書館を初めて訪れたのは、子どもが保育所に通っていた17年ほど前です。保育所で「絵本の読み聞かせの大切さ」の講演を聴いてから、金曜日のお迎えのあとは子ども達と図書館で絵本を借りるのが習慣になりました。子どもが3人いるとそれぞれ性格も違い、全員が本好きにはなりませんでしたが、末娘は時間を忘れて絵本に夢中になっていた子で、今も変わらず大の本好きで嬉しく思います。

子ども達が成長するにつれ、毎日の部活動や子どもの送迎などで親子ともに図書館から足が遠のきました。大学生、高校生となり自分に余裕ができた私は、ふと、「図書館へいこう」と思い立ち、また足繁く通うようになりました。

図書館では司書の方のメッセージが本に添えられていたり、時にはタイトルが付いた福袋があって、どんな本が入っているのかドキドキしながら封を開けると、ふだん自分から手に取らない本が入っているのがそれもまた楽しみであったり……司書の方々のアイデアとご尽力で新しい本に出会えることに感謝しています。ありがとうございます。

最後に、感銘を受けた詩を紹介させて下さい。

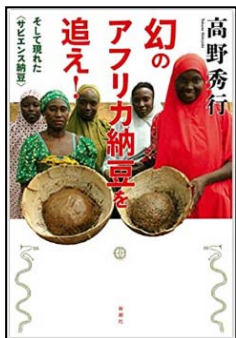
茨木のり子さんの「自分の感受性くらい」……自分自身を気付かせてもらった詩です。



『茨木のり子詩集』

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

谷川 俊太郎 編集 岩波書店



納豆は日本独自の文化だ
と思っている人も多いのでは
ないだろうか。著者は、
タイやミャンマーで納豆に出
会い、納豆が肉や魚の入手し
にくい地域で、干して砕いたり
ペースト状にした

りと多様な方法で、うま味調味料のような役割
で食されていると知った。本書はその経験を踏
まえて、アフリカのナイジェリア、セネガル、
ブルキナファソやお隣の国、韓国の「未確認納
豆」を追い求めたノンフィクションである。

アフリカでは、パルキアという豆の発酵食品
が作られているが、大豆の発酵食品ではないた
め、著者は納豆と呼んでいいものか悩む。しか
し、完成した姿は紛れもなく納豆菌の力によっ
て生み出された納豆であり、アフリカ納豆の存
在を確信した。興味深いのは日本を含むどこの
国にも、自分の納豆に誇りを持つ「手前納豆」

の意識があるということである。一方、韓国人
の思い入れは納豆という食品にはないと著者は
語る。日本では醤油、味噌を作る麹菌と納豆菌
は区別するが、韓国の醤油、味噌は麹菌と納豆
菌の両方が作用して作られているため、納豆を
含めてひとまとめに醬類と呼ぶ。韓国人は醬類
にこだわっており、その素に納豆があるのだと
著者は述べている。

この他に、ハイビスカスの種やバオバブの種
から作られる、本体は食べずにダシとして使う
納豆をブルキナファソで取材したり、どこの国
の納豆菌が一番おいしい納豆を作るのか決める
「納豆菌ワールドカップ」を行ったりしている。

著者の人柄を感じさせるユーモア溢れる文章
には「納豆愛」が盛り込まれており、現地の文
化と深く密着した納豆の奥深さを感じる一冊で
ある。

(御津図書館 明石)

トピックス

※申込、問い合わせは各図書館まで

揖保川図書館

野鳥教室

渡り鳥などの野鳥に関する講座です。(※屋外での観察会はありません。)

【日時】2月28日(日)10時30分～11時30分 【場所】アクアホール3階研修室

【講師】圓尾 哲也 氏(西播愛鳥会 会長) 【対象】小学生～一般

【定員】15名 【持ち物】筆記用具、鳥類図鑑(図書館でも貸出可)

【申込】1月26日(火)から揖保川図書館で先着順に受付(電話可)



宍粟市・上郡町・佐用町で借りた本は、たつの市で返却OK!

播磨科学公園都市圏域定住自立圏(たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町)内の図書館で
借りた本は、圏域内の他の図書館でも返却できます。(返却ポストは利用できません)

※利用要件及び注意点があります。詳細は、各図書館カウンターでご確認ください。

『ロバのシルベスターとまほうのこいし』

ウィリアム・スタイグ さく・え せた ていじ やく 評論社



変わった形や色の小石を集めることが大好きなロバのシルベスターは、ある雨の日、赤く光る奇妙な小石を見つけました。それを手に取り「雨がやんでくれたらなあ」と言う

と、驚いたことに雨はやみました。その石は、触って願うと望みが叶う魔法の石だったので。シルベスターは、両親を喜ばせようと家に向かいました。ところが、途中でライオンに出くわし、あわてたシルベスターはとっさに「僕は岩になりたい」と願ってしまいます。岩になったシルベスターは、そばに落ちている小石に触れることもできないまま眠り、月日は流れていきました。

一方、シルベスターの両親は、帰らぬ息

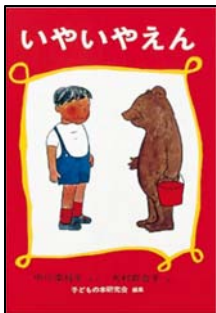
子を心配し、捜しに捜しましたが、手掛かりすら掴めないまま秋が来て冬になりました。春になり、お父さんはお母さんをなぐさめるため、ピクニックに誘います。山でお母さんが腰掛けた岩こそがシルベスターでした。その温かさで目を覚ましたシルベスターは、元に戻りたいと願いましたが叶いません。その時、お父さんが赤い小石を「シルベスターが見たら喜ぶだろうに」と呟きながら岩の上に置きました。両親の悲しい顔を見たシルベスターがもう一度強く願った時、望みは叶いました。

シルベスターの淋しさ、両親の悲しみや愛情が表情豊かに描かれ、最後に三人で抱き合う場面は喜びに満ちています。読んであげるなら5歳くらいから。

(新宮図書館 梅村)

『いやいやえん』

中川 李枝子 作 大村 百合子 絵 福音館書店



しげるは、近くに森や野原のある保育園の「ばら組」に通う男の子です。

ある日、保育園を休んで原っぱに出かけたしげるを、お腹のすいたおおかみ

が見つけました。おおかみは赤い舌を出して近づきましたが、あわてて口を閉じました。しげるの顔には、朝ごはんの食べかすがこびりつき、頬っぺたにはクレヨンで絵が描いてあり、おでこや手足は泥だらけだったからです。「こうきたなくちゃ、うっかりたべられないぞ」。そこで、洗ってから食べようとお湯や石けん、ブラシを次々に運びました。けれども、行ったり来たりするおおかみに気がついたしげるは、保育園のみんなと一緒に取

り押さえ、おまわりさんからは、おおかみ退治のご褒美にパトカーに乗せてもらって大喜びしました。（「おおかみ」）

他に、積み木を並べて作った船に乗りこんで海に出る「くじらとり」や、赤いバケツを持った子グマが園の仲間入りをする「やまのこぐちゃん」など、ちゅーりっぷ保育園での日常を描いた7編の幼年童話が収められています。

どのおはなしも親しみやすく、お日さまのような温かさを感じます。読んでもらう子どもは、物語の登場人物そのものになって、現実と空想が自然な形でまざりあった物語を存分に楽しめます。読んであげるなら4～5歳くらい、自分で読むなら小学校低学年から。

(新宮図書館 岡村)



1月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳、保護者

16日(土)
11時～11時20分
『とらたとおおゆき』他

揖保川図書館

【対象】3～4歳、保護者
9日(土)・16日(土) 10時30分～10時45分
『てぶくろ』他

新宮図書館 【対象】2～4歳、保護者

9日(土)・17日(日)・25日(月)
11時～11時20分
『ちいさなねこ』他

御津図書館

【対象】1～4歳、保護者
10日(日)・17日(日) 11時～11時20分
『だれのあしあと』他
【対象】5歳～
10日(日)・17日(日) 11時30分～11時50分
『三びきのこぶた』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

9日(土)・16日(土)・23日(土)・30日(土)
10時15分～10時45分
「赤ずきん」他

揖保川図書館

9日(土)・16日(土)
11時～11時30分
「ホットケーキ」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

8日(金)
10時～11時30分
総会
(年間計画作成)

揖保川図書館

15日(金)
10時～12時
『八甲田山死の彷徨』
新田 次郎 著

御津図書館

22日(金)
13時30分～15時30分
『みちづれの猫』
唯川 恵 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

14日(木) 10時～11時30分
『魔術師のおい』 C.S.ルイス 著



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

あの絵を描いた人

「モナ・リザ」を描いたダ・ヴィンチ、「富嶽三十六景」を描いた葛飾北斎…。「あの絵を描いた人」に目を向けてみませんか。中世から現代まで、さまざまな画家にまつわる本を集めました。

【期間】1月30日まで

新宮図書館

作家を知る

共感する作品に出会うと作者についての興味が湧いてきます。作家の知られざる素顔や作品の背景を知り、作品への理解がより深まるような本を紹介します。

【期間】1月31日まで

揖保川図書館

渋沢栄一と同時代をきた人たち

「日本資本主義の父」と呼ばれ、新紙幣の図柄にも選ばれた実業家・渋沢栄一。彼と同時代に活躍した偉人や文豪などの本を展示します。

【期間】1月31日まで

御津図書館

こだわりメニュー

毎日の献立、サッカーの練習、筋トレ…どうやって進めていくか悩んでいませんか？ いろいろな場面に応じたこだわりのメニューを作ってみませんか。

【期間】1月30日まで